

平成26年9月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋 水 会 川 口 雅 丈

希 望 齊 藤 勝

市 民 ク ラ ブ 見 上 万 里 子

共 産 党 佐 藤 純 子

公 明 党 石 塚 秀 博

フ ォ ー ラ ム 2 1 伊 藤 巧 一

社 会 ・ 市 民 連 合 工 藤 新 一

温 修 小 原 讓

秋 水 会 佐 藤 宏 悦

秋 水 会 今 川 雄 策



1 人口減少対策等について

(1) 本市の将来的な人口や年齢構成を見据えれば、今抱えている課題の解決に実効性のある事業であっても、将来的には方向性を転換せざるを得ないことが想定されるが、このような事業については今から対応を考え実施していくべきと思うがどうか

(2) 介護や子育ての共助の推進、家族の絆づくりの強化、地域コミュニティの活力向上を図るため、多世代同居や近居を支援していくべきではないか

(3) 雇用の創出について

ア I R（特定複合観光施設）の誘致や外旭川地区への大型複合商業施設構想など、本市の人口減少対策としての雇用の創出につながる提案を民間事業者などが検討しているが、このような提案に対して、市としてどのように受けとめ、どのように対応しようと考えているのか

イ 現在、本市にふるさと納税として寄附をしていただいた方に対して、6次産業化で生み出された農産加工品を進呈することとしているが、地域経済の活性化や新たな雇用創出の一助とするため、他の特産品や市内宿泊券などについても進呈を検討すべきではないか

ウ 職員数の減により、職員1人当たりの業務量の増加からモチベーションが下がっていることや、精神疾患などにより療養休暇を取得する職員がふえていることなどから、これらの問題を解消するため、来年度から採用予定人員をふやすべきではないか

2 児童生徒の人間力の向上について

(1) 土曜授業の実施により授業枠をふやし、児童生徒の人間力を向上させる取り組みを行うべきと思うがどうか

3 今後の中心市街地の活性化について

- (1) 新たな中心市街地活性化基本計画を策定し、中心市街地全体の活性化を早期に実現すべきではないか
- (2) 中心市街地全体を活性化させる第一歩として、千秋公園再整備基本計画を強力に推し進めるべきではないか

#### 4 防災について

- (1) 土砂災害への対応について

ア 市長は、広島市の事例を受け、土砂災害に対する警戒態勢を総点検するよう指示をしたとのことであるが、今後の具体的な対応をどのように考えているのか

- (2) 耐震診断等への助成について

ア 民間が所有する要緊急安全確認大規模建築物の対象施設数と耐震診断の実施状況はどうか、また、耐震化が必要とされた施設については、耐震化工事に対しても助成すべきと思うがどうか

#### 5 除排雪の検証等について

- (1) 昨冬の降雪量に対する除排雪関係経費の執行状況と過去の状況とを比較した場合、昨冬の除排雪は効率的であったと言えるのか、また、将来的に財政状況が厳しく、除排雪関係経費を確保できないことも想定されることから、共助による除排雪を推進していくべきと思うがどうか

#### 6 スタジアムの新設について

- (1) ブラウブリッツ秋田のJ2昇格を見据え、県市連携によりスタジアム新設の検討を始めるべきではないか

1 市長の政治姿勢について

(1) 市長は、閣議決定された集団的自衛権の行使容認について、どのようにとらえているのか

2 外旭川地区におけるイオンタウン株式会社による開発構想等について

(1) 外旭川地区を新たな地域中心に設定することについて、市長の見解はどうか

(2) イオンタウン株式会社が提示する開発構想の実現は、大企業の誘致にも匹敵すると思われるが、同構想についてどのように認識しているのか

(3) 同構想が具体的に提示された場合、受け入れる考えはあるのか

3 泉・外旭川新駅（仮称）について

(1) 新駅の必要性について疑問視する声が上がっていることを受けて、新駅の設置に関して市民理解が十分に得られるよう説明を尽くしていく考えはないのか

(2) 今年度、鉄道事業者による調査が行われる予定であるが、市長公約どおり新駅の設置に向けて進めていく方針に変わりはないのか

4 教育行政について

(1) 土曜授業についての見解はどうか

(2) 小学校における英語の教科化についての見解はどうか

(3) 道徳の教科化についての見解はどうか

(4) 児童生徒の食生活等に関する指導について

ア 朝食をとらずに登校する児童生徒の実態をどのように把握しているのか、また、朝食の有無と学力との間に因果関係はないのか

イ 児童生徒及びその保護者に対して、朝食を毎日とることを初め、規則正しい食習慣の重要性をどのように啓発しているのか

- (5) 学校トイレの改修に当たっては、他自治体の事例に倣い、機能的で、児童生徒が落ちつくことができる空間になるよう整備を進めていくべきではないか

5 空き家バンクについて

- (1) 空き家バンクの新設について、具体的にどのように検討しているのか

6 ペレットストーブの普及啓発について

- (1) ペレットストーブの設置を促進していくため、ペレットストーブの購入及び設置に要する費用の助成制度を設けるべきではないか
- (2) 官民一体となってペレットストーブの普及促進に取り組むため、本市が声を上げていくべきではないか

## 1 市長の政治姿勢について

### (1) 泉・外旭川新駅（仮称）について

ア 市民意向調査における新駅設置の必要性について、肯定派が新駅周辺地域で約76%、全市で約62%であることについてどうとらえているのか、また、同調査は適切に行われていたと考えているのか

イ 整備効果等調査を委託した株式会社福山コンサルタントについて、業務実績や技術力をどのように評価しているのか

ウ 新駅設置の検討に当たっては、外旭川地区でのイオンタウン株式会社による開発構想とあわせて検討するべきではないか

### (2) 「エリアなかいち」の商業施設のリニューアル等について

ア 今回のリニューアルは、「市民の主体的な活動によって、人々が集い、交流し、買い物などでにぎわう魅力的な中心市街地」とすることに主眼が置かれていないと思うがどうか

イ 秋田まちづくり株式会社では判断をスムーズにするため役員を一新したと思うが、このリニューアルはその成果ととらえているのか

ウ 「秋田で美人」をコンセプトにビューティーモールを展開するとされているが、集客対象をどのように設定し、秋田美人とはどのようなイメージととらえているのか

エ 秋田まちづくり株式会社における女性管理職及び女性社員は何人か

### (3) 大森山動物園へのジャイアントパンダ誘致について、中・長期的な視点での情報収集は継続しているのか

### (4) 新屋まちづくり基本構想については、用地を取得して施設を建設する方向で進めているが、この基本構想の100年後をどう見据えているのか

## 2 地方公会計制度の導入について

### (1) 総務省が進める固定資産台帳整備の準備の進捗状況はどうか

- (2) 総務省が実施しようとしている、日々仕訳を導入する実証モデル事業に参加を検討してはどうか

### 3 国旗及び市旗等の掲揚について

- (1) 市有施設において国旗掲揚ポールを設置している施設数は幾つか、また、祝日の国旗掲揚を行っているのは幾つか
- (2) 祝日における国旗の掲揚は、施設が開いているときには掲揚するべきではないか
- (3) 海外からの訪問者に対する歓迎の意は、掲揚されている市旗をおろして当該国旗を掲げるのではなく、別の方法であらわす方がよいのではないか
- (4) 掲揚に関するルールを決め、通常と異なる掲揚の場合にはその目的をホームページ等で市民に周知するべきではないか

### 4 人事行政について

- (1) 職員の精神疾患による休職の状況と、復職に向けてのサポートはどうか
- (2) 時間外勤務の縮減のためにどのような対策をしてきたのか
- (3) 退職者の再就職の状況について、公表できるよう検討した結果はどうか
- (4) 障がい者の採用状況はどうか、また、今後の予定はどうか
- (5) 障がいを持つ職員が職場に適応できるようにするために、どのような支援を行っているのか

### 5 人に寄り添う活動について

- (1) 自殺対策、高齢者にやさしい都市づくり及び保護観察対象者の社会復帰支援などを総称して「日本一、人に寄り添う都市」とし、展開してはどうか
- (2) 関係部局及び各種関係団体による情報交換の場を設けてはどうか



6 民間企業における女性管理職の登用について

- (1) 男女共同参画の視点からの講習会の開催や講師の派遣などにより、民間企業の女性管理職がふえるような職場環境づくりを支援してはどうか
- (2) 平成28年度日本女性会議の秋田市開催を前に、女性の活躍を進める民間企業に対し、女性管理職の積極的な登用などについて宣言してもらうよう働きかけてはどうか

7 竿燈まつりについて

- (1) 観覧する環境が少しでも向上するように竿燈大通りの雨水対策をするなど、県と市が連携して対策を講じるべきではないか
- (2) 竿燈をギネスブックに登録することはできないのか

8 除排雪について

- (1) 下水管内の空気を利用した融雪システムを研究してはどうか

9 防災訓練について

- (1) 職員参集訓練の実施状況はどうか、また、結果及び今後の課題はどうか
- (2) 防災訓練の際に、防災ネットあきたを利用してはどうか

10 食育について

- (1) 日本野菜ソムリエ協会と連携し、キッズ野菜ソムリエを養成しながら、食育と食の魅力発信に取り組んではどうか

11 選挙について

- (1) 投票率の向上のために、地域特性に応じた啓発活動をどのように行っているのか
- (2) 政治や選挙に興味がある市民に向けた気軽に立ち寄れる講習会を開催するべきではないか

## 12 上下水道事業について

- (1) 本市における水道料金及び下水道使用料の水準は、他の自治体と比べてどうか
- (2) 今後、水道料金及び下水道使用料の値上げはないのか、また、あるとすればどのタイミングか
- (3) 水道管の老朽化や耐震性能不足により、断水など市民生活に影響を与える可能性はないのか

## 13 国民健康保険被保険者証について

- (1) 国民健康保険被保険者証を2年更新にした場合、経費はどれくらい削減できるのか、また、その場合検討すべき課題はあるのか
- (2) 秋田県国民健康保険団体連合会に対して、更新時期の見直しを求めた結果はどうだったのか

1 市長の政治姿勢について

(1) 集団的自衛権行使容認への反対について

ア さきの戦争の最後の空爆地の市長として、安倍内閣の集団的自衛権の行使容認の閣議決定に対して、明確に反対の意思表示をすべきではないか

2 市内の小規模企業への支援等について

(1) 小規模企業が地域経済に果たしている役割について、どうとらえているのか

(2) 小規模企業の実態調査を行い、具体的な支援策を検討すべきではないか

3 子育て支援について

(1) 秋田市子ども・子育て支援について

ア 第2子以降の保育料を無料にすべきではないか

イ 在宅子育てサポート事業は、今の女性の就労状況を考えると見直すべきであり、新たな子育て支援のあり方を検討すべきではないか

ウ 学童保育の保育料は、市独自に負担軽減策を講じるべきではないか

(2) 中学校を卒業するまで、医療費を無料化すべきではないか

(3) バスを利用している高校生に通学費を補助すべきではないか

(4) 就学援助について

ア 就学援助基準は、来年度以降も生活保護基準引き下げ前の基準を維持すべきではないか

イ 部活動費やPTA会費も支給対象にすべきではないか

ウ 新入学学用品費については、中学校入学前に仮認定し、新年度前に支給すべきではないか

(5) 生活困窮者自立支援法施行後の社会的な居場所づくり支援事業につ

いて

ア 生活困窮者世帯の子供の学習支援に対しては、当該事業を継続するとともに、対象者の拡大を図るべきではないか

#### 4 保護課職員の増員について

(1) 県の平成25年度生活保護法施行事務監査の結果を受け、早急にケースワーカーを増員すべきではないか

#### 5 図書環境について

(1) 市立図書館について

ア 市立図書館が地域において果たす役割を、どうとらえているのか

イ 図書や資料の購入費を、秋田県図書館協会のガイドラインが定める目標に近づけるために、次年度予算を増額すべきではないか

(2) 学校図書館について

ア 学校における読書環境を充実させるために、学校図書費を増額すべきではないか

イ 専任の学校司書を配置すべきではないか

#### 6 高齢者にやさしいまちづくりについて

(1) 買い物支援について

ア 宅配を行っている業者に対し、支援をしていくべきではないか

イ 秋田市社会福祉協議会の事業をもとに、河辺・雄和両地区の社会福祉協議会で実施している買い物支援に対して、拡大実施に向け支援をすべきではないか

(2) 屋根の雪おろしへの支援について

ア 道路豪雪対策本部の設置にかかわらず、屋根の雪おろしへの支援を行うべきではないか

(3) 認知症について

ア 認知症サポーターやキャラバン・メイトの養成目標人数の達成に向け、取り組むべきではないか

- イ 子供のころから認知症について学び理解を深めるため、より広く小中学校で出前講座を行うべきではないか
- ウ 徘徊に対する地域の見守りを強化するため、市の支援のもと、地域包括支援センターを中心としたネットワークをつくるべきではないか



1 土砂災害への危機管理について

(1) 本市における土砂災害警戒区域等の現状について

ア 市内全域における土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の箇所数、並びに両区域の人口及び世帯数はどれくらいか

イ 両区域にはだれもがわかるような標識や看板等が設置されているのか、また、これまで本市は、両区域の住民に対してどのような注意喚起や危険性の周知を行い、警戒避難体制の整備を具体的にどのように実施してきたのか

(2) 土砂災害警戒区域内における、災害時要援護者が利用する施設の箇所数及び施設利用者の人数はどれくらいであると把握しているのか、また、地域防災計画においては、円滑な警戒避難ができるよう土砂災害に関する情報等の伝達手段を定めることとなっているが、その場合における伝達手段の具体とこれまでの実績はどうか

(3) 土砂災害警戒区域等の指定について

ア 本市において、本来、土砂災害警戒区域または土砂災害特別警戒区域に指定されるべき危険箇所であるにもかかわらず未指定となっている地域はあるのか、また、その実態はどうか、さらに、どのような理由で指定されずにいるのか

イ 国においては、広島市での災害を受けて土砂災害防止法を改正し、土砂災害警戒区域等の指定を促進する方針であるが、そのことに伴うハザードマップの更新や住民への周知、避難体制の整備及び標識や看板の設置等について、どのような見通しを立てているのか

(4) 広島市の場合と同様の条件下での土砂災害は、全国どこでも発生する可能性があるが、このような場合の避難のあり方を含め、避難指示・勧告のあり方についてどのように考えているのか

(5) 防災情報伝達システム等について

ア 新たな防災情報伝達システムについて、災害時にリアルタイムで収集した災害情報が一元化され、より速く住民へ伝達するためのシ

システムとはどのようなものか、また、さまざまある伝達手段をどう活用していくのか

イ 広島市における土砂災害の教訓を今後の避難指示・勧告に生かすならば、より速やかに発令を出せるよう手順の見直しや発令基準の単純化など、ソフト面の検討をすべきと考えるがどうか

(6) 緊急時の避難場所の周知について改めて見直すことに加え、円滑な避難を行えるよう、「地域防災学習マップ」を活用するなど住民一人一人の意識を高め、継続的な教育・啓発の機会をつくるための支援が必要であると思うがどうか

(7) 被災者生活再建支援のためのシステムを構築するとしているが、具体的にどのような仕組みで運用していくのか

## 2 人口減少社会における地域活性化について

(1) 秋田県内において地方中枢拠点都市の要件を満たすのは本市のみであるが、国全体で人口減少が進んでいる今、地方中枢拠点都市圏構想及び国土交通省が提唱している類似の事業をどのように評価し、市としてどう対応していくのか

(2) 地方中枢拠点都市圏構想は、地域の実情に応じた行政サービスの提供のためのものであり、市町村合併を推進するためのものではないとしているが、「平成の大合併」時のような自治体に対するいわゆる「あめとむち」はあるのか、また、国において検討している新たな財政措置と地方交付税との関連及び地方の財政負担の見通しはどうか

(3) 県都秋田市として、今後、周辺自治体へ連携協約締結へ向けた協議の呼びかけをしていくのか、また、周辺自治体から協議の打診があった場合、どのように対応しようと考えているのか

## 3 市有施設の維持管理について

(1) ことし7月に公共施設の最適化専門部会が2度開催されたが、会議の具体的内容はどうか

(2) 歳出に占める割合が上昇していくと見込まれる市有施設の維持管理



経費を将来にわたって確保するため、用途別・築年別に市有建築物の保有状況を整理し、さらなる総量削減の検討を行うとともに、先行投資的に新たな基金を創設し、本市財政への負担軽減を図ることが必要と考えるがどうか

(3) 人口減少の進行に伴う施設利用度や利用形態の変化を見据え、今後の大規模改修や更新時に施設の複合化あるいは減築など、検討事項は多岐にわたると思うが、市有建築物の現状及び今後の課題はどうか

(4) 市有施設の全延べ床面積の4割以上を占める学校施設の中には、今後10年の間に急速な老朽化が予想される校舎が数多くあるが、喫緊の課題である大規模改修や更新の優先順位づけについてどのように考えているのか

#### 4 東北六魂祭の秋田開催について

(1) 東北六魂祭の開催に当たっては、市長は、どのような決意で東北の復興とふるさと秋田の再生を実現していくのか、また、その熱き思いを東北六魂祭という舞台でどのように表現し、秋田の元気をどう発信していくのか

(2) 来年の開催に向けてテーマと副題を考える場合、どのような方法で決定しようと考えているのか、また、いつどのようなタイミングで市民に公表することになるのか

(3) 東北六魂祭の開催時期や開催場所について、どのように考えているのか、また、県や商工会議所など、多くの関係機関、団体等との連携について、どのように進めていくのか、さらに、全体の運営計画や危機管理体制の整備を初め、道路を含む公共施設等の利用、輸送、宿泊、警備及び広報宣伝等の各計画の策定と実施については複数の部局が連携し取り組まなければならないものとするが、具体的にどのように進めていくのか

(4) 秋田県全体が元気を取り戻し、元気を発信していくという観点で東北六魂祭をとらえるならば、これまで以上に地元の人々と密着し、東北と秋田の魅力が一度に味わえる機会にするために、東北6市に加え、

県内各自治体や団体等も何らかの形で参加できるよう工夫することには大きな価値があると思うがどうか

## 1 秋田市公設地方卸売市場について

- (1) 産地偽装問題等により地方卸売市場から撤退した業者の市場使用料の未納金は生じていないのか
- (2) 撤退した業者は地方卸売市場においてどのような許可の内容に基づき営業していたのか、また、営業時間を含めどのような営業状況であったのか
- (3) 市は撤退した業者の産地偽装問題について、地方卸売市場の指定管理者であるあきた市場マネジメント株式会社の管理責任をどのように認識しているのか
- (4) 産地偽装問題については、本市に開設者としての管理責任があると思うかどうか
- (5) 地方卸売市場における産地偽装問題について、地方卸売市場の開設者として市民に対する説明やおわび等があったのか、また、撤退した業者に対する処分はどうか
- (6) 今後の管理運営をどのように改善していくのか

## 2 外旭川地区の大型複合商業施設構想等について

- (1) 外旭川地区に計画されている大型複合商業施設構想によると、雇用規模が2,000人から3,000人とも言われているが、同構想が雇用対策や人口減少対策につながると考えているのか
- (2) 同構想に県市連携文化施設が組み入れられた場合、どのようなメリットがあると考えているのか
- (3) 大型複合商業施設が実現した場合、「エリアなかいち」を中心とした中心市街地にはどのような影響が出るのか
- (4) 構想予定地は、農業振興地域であり本市農業振興地域整備計画により農地以外での土地利用が厳しく制限されているが、本市はどのような考えで対応するのか
- (5) 構想予定地は、市街化調整区域で開発が抑制されているが、本市は

どのような考えで対応するのか

(6) 構想予定地は、市長公約である泉・外旭川新駅（仮称）設置の予定地に近い立地にあるが、新駅構想を進めるに当たって市はどのように関与していくのか

(7) 同構想について、本市はどのくらい関与しているのか、また、本市はどのような方針で対応するのか

### 3 中国南寧市との貿易について

(1) 本市の成長戦略の一つに位置づけている南寧市での貿易関連事業の成果をどのようにとらえているのか

(2) 行政間の交流や経済交流の促進を図るため、南寧市とどのような交渉を行ってきたのか、また、今後も南寧市との貿易に対して市が関与していくのか

(3) 南寧市「秋田ショップ」について

ア ことしで3年目となった「秋田ショップ」の売り上げ状況はどうか

イ 「秋田ショップ」の売り上げが低迷し、運営に支障を来した場合、どのような判断を下すのか

### 4 教育問題について

(1) 学校給食費の公会計化について

ア 公会計化の実施に向けての検討状況はどうか、また、どのような課題が考えられるのか

(2) 小中高生のスマートフォンの使用について

ア スマートフォンの使用に当たり、トラブル等の被害は報告されていないのか

イ 本市では、小中高生のスマートフォンの使用について、どのように指導しているのか

ウ スマートフォンの使用について、学校側としての取り決め等はあるのか

エ 今後、本市でも使用時間の制限など具体的な対応策が必要と考えるかどうか

(3) 御所野学院について

ア 御所野学院高等学校の大幅な定員割れについてどのように考えているのか、また、女子生徒に比べ男子生徒が少ないことについてどのようにとらえているのか

イ 秋田南高等学校を母体とする中高一貫校が開学することにより、御所野学院への志願者数に影響が出ると思うがどのように認識しているのか、また、今後、どのように対応していくのか

ウ 中高一貫校である御所野学院の教育内容や入学者選抜のあり方を再度見直しすべきと考えるかどうか

5 油谷これくしょんについて

(1) 旧金足東小学校に展示している油谷これくしょんへの来場者数はどうか、また、同これくしょんの活用及び貸し出し状況はどうか

(2) 油谷これくしょんを活用した金足地区の地域活性化につながるイベントの企画運営等はどのように行われているのか

(3) 油谷コレクション活用推進事業について、来年度以降も予算計上していくのか

(4) 油谷これくしょんの利活用方法は現状どおりでよいと考えているのか

6 「エリアなかいち」について

(1) 商業施設のリニューアル等について

ア リニューアルを進めるに当たり、現在入居しているテナントはどのようなのか

イ リニューアルに関して本市はどのようにかかわっているのか、また、財政的支援等をしているのか

(2) 秋田市と秋田まちづくり株式会社とのかかわりについて

ア 石井副市長は5月14日に副市長室において、前秋田まちづくり株

式会社社長に対し、引責辞任を迫っていないのか

イ 石井副市長は、株式会社秋田まるごと市場が残した設備等の買い取りを再三にわたり秋田まちづくり株式会社に求めなかったのか

ウ 石井副市長は6月2日に秋田まちづくり株式会社に対し、6月4日の期限を設けてその役員の大半が退任することに対して全株主の承諾を得るよう求めなかったのか

エ 石井副市長は、秋田まちづくり株式会社の新社長要請時に、株式会社秋田まるごと市場の賃料等の未払いや同社が残した設備等について話したことはあるのか

オ 平成26年6月定例会において、「エリアなかいち」関連の一般質問に対して、詳しい事情を知らない部長に終始答弁させ、よく知っている当事者である石井副市長及び穂積市長が答弁しなかったのはなぜか

カ 平成24年7月のオープン以降、商業施設に関して、市と秋田まちづくり株式会社はどのような協議を行ってきたのか

1 地方独立行政法人市立秋田総合病院について

- (1) 市立秋田総合病院が将来にわたり総合的かつ高度な医療を提供する地域の中核的な医療機関として必要な医療環境について、設置者としてどうあるべきと考えているのか
- (2) 市立秋田総合病院の老朽化と狭隘化が指摘されているが、病院改築に関して、設置者としてどう考えているのか

2 公立大学法人秋田公立美術大学について

- (1) 全国的に大学の経営環境が厳しい状況にある中、秋田公立美術大学が生き残るためには、研究施設や附属施設の充実などが必要と考えるが、設置者としてどのような大学を目指しているのか

3 泉・外旭川新駅（仮称）について

- (1) 本市のまちづくりにおいて、新駅がどのような効果を生み出すのか
- (2) 加速する少子高齢化により税収減や福祉分野への財政投入が見込まれる中、市がＪＲに設置を要請する新駅は、その整備費用や維持管理費の全額が市の負担となり多額の支出が見込まれることから、見直す考えはないのか

4 木質ペレットについて

- (1) 木質ペレットの普及・促進を図るため、木質ペレットを安定して生産、消費できる環境を整えるべきと考えるがどうか
- (2) 公共施設への木質ペレットボイラーの導入を図っているが、その稼働状況と効果はどうか、また、今後の導入計画はどうか

5 ペット霊園について

- (1) 本市にあるペット霊園の利用状況や周辺への影響等を把握しているのか

(2) 御所野地区のペット霊園建設計画について、市側から建築主に対し地域住民に事前に十分説明するよう助言があったにもかかわらず、誠意ある説明がないまま建設工事を強行している状況をどうとらえているのか

(3) 本市の住環境を保全するため、ペット霊園等の設置に関する条例を早急に設定すべきと考えるがどうか

## 6 千秋公園の蓮について

(1) 千秋公園のお堀に咲く蓮の生育に害を与えるおそれのある葦の除去を急ぐべきと思うがどうか

(2) 市民が、蓮の花托等を利活用できるようにしてはどうか

(3) 千秋公園の蓮に親しむ環境を整え、観光資源としての価値を市民と一体となって高めていくべきと思うがどうか

## 7 秋田市総合防災訓練について

(1) 今年度の総合防災訓練をどう評価しているのか、また、課題はどうか

(2) 災害時における市役所機能がどのようになるのかを実感するため、事前に市民に周知した上で、非常用電源を稼働させて市役所業務を行う訓練を実施してはどうか

(3) 訓練の実施に当たっては、災害時における部局長級の初動体制について、公共電気通信網が途絶えることなどを想定した訓練を実施すべきと思うがどうか

(4) 現実に即した訓練を盛り込むことについて、どのように考えているのか

## 8 小学校における集団フッ化物洗口事業について

(1) 事業効果について、どのように検証するのか



1 本会議及び市民への説明について

- (1) 一般質問において、どのような考えのもと答弁者を決定しているのか
- (2) 市政の重要施策にかかわる答弁は市長みずからの言葉で行うべきと考えるがどうか
- (3) 本会議答弁において検討事項としたものに対して、早期に措置状況を報告するべきと考えるがどうか

2 県都『あきた』成長プランにおける推進計画について

- (1) 将来都市像別推進計画の「豊かで活力に満ちたまち」に関連する年次別事業費の推移について
- (2) 「豊かで活力に満ちたまち」の基本施策における目標の達成状況及び事業効果はどうか

3 人事管理について

- (1) 汚職の多くは人事管理上の問題に起因しているものと思うが、本市ではどのように対応しているのか
- (2) 職員研修や朝礼などの機会に市民憲章を唱和し、公務員としてのモラルや社会人としての意識の向上を図るべきではないか

4 国及び県への要望等について

- (1) 本市における、要望・陳情の状況はどうか
- (2) 政策提言に対する認識はどうか、また、本市も政策提言へ移行する考えはないのか

5 審議会等について

- (1) 本市の各種審議会等の実態と認識について
- (2) これまでの諮問別に設置する縦割り方針を再編し、効率のよい審議

会とする考えはないのか

6 政策法務について

- (1) 本市における政策法務の現状と課題をどのように考えているのか
- (2) 職員の政策法務能力の充実・強化についてどのように考えているのか、また、具体的な方策はどうか

7 公共施設について

- (1) 本市公共施設の現状と課題及び今後の有効活用について
- (2) 大館市空き公共施設等利活用促進条例と同様の条例を制定する考えはないのか

8 新庁舎における分煙について

- (1) 愛煙家の来庁者のため、新庁舎内に喫煙スペースを確保するべきではないか
- (2) 職員が喫煙のため職場から離れる時間などを考慮した場合、できるだけ近くに喫煙スペースを設置するべきと考えるがどうか

9 地域の諸課題について

- (1) 市内には計画されているものの整備されていない地上式消火栓は幾つあるのか
- (2) 金足地域における地上式消火栓の整備予定はどうか
- (3) 馬踏川護岸及び市道金足堀内岩瀬線の復旧について
- (4) 馬踏川の河川改修の進捗状況と今後の見通しについて

1 人口減少対策等について

- (1) 人口減少に対する認識と対策の現状はどうか、また、対策の明確な方針を策定し、全庁的に取り組みを進めるべきではないか
- (2) 人口減少対策に関連する予算が少ないと感じるが、対策の成果はどうか、また、今後、関連予算を増額すべきと考えるがどうか
- (3) 人口減少対策について、行政と幅広い分野の市民が検討する場が必要と考えるがどうか、また、市内の各大学と連携して人口減少の要因やその対策に関する調査・研究を行い、新たな取り組みを考えるべきではないか
- (4) 少子化対策について、共働き家庭が安心して多くの子供を産み育てられるような実効性のある支援を検討し、実現すべきと考えるがどうか
- (5) 地元就職を希望している若者が多いという現状を把握しているのか、また、雇用拡大の具体的な戦略はあるのか

2 公契約について

- (1) 一般土木工事等の登録業者の等級格付について
  - ア 一般土木工事を4等級に分けているのは、本市の独自の基準か、また、4等級に分けている理由は何か
  - イ 昨年度から続く公共工事の入札の不調・不落は、入札登録業者の中でC1・C2級が多いと聞いているが、その要因をどのように分析しているのか、また、C1・C2級の登録業者数及び受注状況などの現状はどうか
  - ウ C1・C2級の登録業者への現場の安全管理やコンプライアンス指導などを、どのように行っているのか
- (2) 総合評価落札方式の配点について
  - ア 秋田県の総合評価落札方式と比べ、優良工事や技術提案に対する配点が低いと思うが、その理由は何か

(3) 随意契約の見直し等について

- ア 上下水道局における収賄事件の再発防止策として、随意契約事務のチェック機能を強化するとしているが、事件前と同様に同局内だけで発注や確認を行うことで、本当に再発は防げると考えているのか
- イ 工事等の契約については、精通した第三者機関によるチェック体制を整備し、担当者の発注履歴など詳細な調査を行うべきと考えるかどうか

(4) 工事検査について

- ア 発注者である市の職員が検査を行っていることをどのように認識しているのか
- イ 検査員は資格が必要ではないのか、また、資格が不要な場合、検査員を選ぶ基準及び検査内容をどのように定めているのか

(5) 緊急工事等について

- ア 緊急工事等の要件は何か
- イ 契約の適正化を図るために、チェック機能の体制強化、抜き打ち検査の実施、監査の強化などをすべきと思うかどうか

3 農業の多面的機能支払交付金について

- (1) 同交付金の活用について検討したものの、申請に至らない組織が多いと聞いているが、申請に至らなかった理由と、本市の農地面積に対する申請割合など、現在の取り組み状況はどうか
- (2) 農家にとって身近な存在であるＪＡや土地改良区などが、同交付金の申請の手続などの積極的な支援を行わない現状と、今後のあり方をどう考えているのか
- (3) 申請をあきらめている組織や、まだ申請していない組織のために、来年度までの申請延長及び農地維持活動へ資源向上活動を加えた計画変更について、関係機関へ要望すべきと考えるかどうか

4 外旭川地区の大型複合商業施設構想について

- (1) 和歌山市でイオン出店に伴い2,000人の雇用が生まれたと言われているが、この事例をどう評価するのか
- (2) 雇用の拡大や販路まで確保されている6次産業化の推進など、同構想は本市の経済に大きく寄与すると考えるが、どのようにとらえているのか、また、構想の全容を直接聞く考えはないのか
- (3) 同構想を実現する上で、クリアすべき課題は何か
- (4) 同構想を実現した場合としない場合とでは、将来、本市の地域経済やまちづくりにどのような違いが生じると考えるのか
- (5) コンパクトシティの考え方にとらわれず、将来の地域経済やまちづくりを考え、同構想を推進する立場をとるべきではないか

## 5 「エリアなかいち」について

- (1) 「エリアなかいち」の現状に対する認識や、にぎわいとはどう創出すべきかについて、市民から直接意見を聞く機会を設けるべきと思うがどうか
- (2) 秋田まちづくり株式会社で変更した新たなコンセプトは、本市が当初思い描いていた中心市街地のあるべき姿にふさわしいと考えているのか、また、来年度のにぎわい創出のための予算計上をどのように考えているのか

## 6 コンパクトシティについて

- (1) 行政サービスを全市民が平等に享受するためには、コンパクトシティの考え方は地域格差が生じ、不平等と考えるがどうか
- (2) 市民の間にコンパクトシティに対する不満の声があるが把握しているのか、また、類似都市における成功事例はあるのか
- (3) コンパクトシティの考え方に基づいて郊外の開発を抑制しているが、多くの地域住民から開発に係る要望があり、業者が開発行為の申請をした場合には、開発を許可すべきと思うがどうか

## 7 市立図書館について

(1) 市立図書館の果たすべき役割をどう認識しているのか

(2) 司書について

ア 司書によるレファレンスサービスの現状と活用の推進について、  
どのように考えているのか

イ 今後の司書の採用をどのように考えているのか

(3) 図書館の環境整備について

ア BGMの活用や喫茶コーナーを設けるなど、利用者をふやすための  
環境整備をしてはどうか

(4) 図書資料整備経費について

ア 今年度の当該経費は増額されたが、利用者の要望に十分にこたえ  
られているのか、また、今後、さらに当該経費をふやす考えはない  
か

(5) 東部地域に図書館を整備する考えはないか

## 8 トイレの水洗化に対する助成制度について

(1) 上下水道局におけるトイレの水洗化に係る融資あっせん・助成金制  
度の対象に、地域活動の拠点となる集会所等を含めるべきと思うがど  
うか

(2) 集会所類似施設整備・建設費助成事業の営繕費補助は、トイレの水  
洗化も対象にしているようであるが、現行の定額制ではなく、工事費  
の一定割合を補助する制度に変更すべきと思うがどうか、また、低金  
利での貸付制度を創設する考えはないか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 政府が重要課題と位置づける「地方創生」に対しどのような認識を持ち、また、本市としてどう取り組むのか
- (2) 地方中枢拠点都市圏構想をどのように受けとめ、本市としてどう対応していくのか

2 退職自衛官の採用について

- (1) 防災部門に退職自衛官を採用することのメリット、デメリットをどのように認識しているのか
- (2) 退職自衛官採用の必要性をどのように考えているのか

3 子ども・子育て支援新制度について

- (1) 新制度移行に向けた準備状況はどうか
- (2) 幼児教育に対してどのような認識を持ち、今後どのように推進していくのか
- (3) 幼稚園に対する新制度の周知には万全を期すとともに、新制度開始の平成27年4月以降についても制度に参加しやすい体制を構築すべきと考えるがどうか

4 秋田都市計画道路事業「泉外旭川線」について

- (1) 事業の進捗状況と今後の予定について
- (2) 地域住民の生活環境の変化や安全確保に向けてどう対応をしていくのか

5 教育行政について

- (1) 秋田市立小・中学校の適正配置の今後の取り組みについて
- (2) 教職員の人事権の移譲に対する市長の認識について

6 八橋運動公園及び市立体育館の駐車場について

- (1) 駐車場の現状をどのように認識しているのか、また、拡張整備する考えはないか
- (2) 土日における周辺事業所の駐車場の借り上げや周辺道路へ臨時に駐車を許可するなど、新たな駐車スペースを確保する考えはないか